

成蹊学園史料館年報 二〇〇六年度

目次

1 論文 4

奥田正造先生の茶道教育

布埜千加子 4

2 成蹊学園史料館の活動報告 27

2-1 二〇〇六年度の史料館の事業 27

(一) 成蹊学園史料館の年間活動状況の概要

(二) 特別展示について

(三) 特別講演会の開催について

(四) 博物館実習生の受け入れについて

(五) 『成蹊学園史料館資料集③』

(六) 成蹊学園史料館運営委員会(二〇〇六年史編集委員会)の活動概要

(七) 学外研究会等での活動

2-2 特別展示 33

(一) 〈成蹊小学校―「学校給食」の思い出―〉展示記録

(二) 「樺祭の歴史」展示記録

(三) 「建学の日」特別展示(二〇〇六年度成蹊学園史料館 新収蔵史(資)料紹介)展示記録

2-3 聞き取り調査報告 47

野村純三氏(旧教員)

2-4 博物館実習生の受け入れ 64

2-5 「成蹊学園一〇〇年史」編纂 活動報告 67

(一) 学内史(資)料調査報告

(二) 学園基礎年表の作成について

(三) 学園の基礎データ資料の把握

3 学園史(資)料の紹介 71

館蔵史料「岡不崩宛て書簡類」紹介 71

4 研究ノート 86

【研究ノート1】

翻刻・松木直秀『湯室の記』

成蹊大学大学院博士後期課程 鈴木 亮 86

【研究ノート2】

岩崎小弥太と成蹊学園

上田 祥士 129

表記について

一 用字は通行の字体、仮名遣いは現代かなづかいを用いる。引用文の仮名遣いは原則として原文のままとする。

二 年号は原則として西暦を用い、適宜和暦を補記する。

三 人名は敬称を略し、肩書き・役職名は当時のものを用いる。人名等の用字については正字・異体字を使う場合に起こりうるさまざまな不公平を避けるため、右記の原則に従って表記する。学園の創立者の一人である岩崎小弥太については、正しくは「岩崎小彌太」であるが、本書では原則として「岩崎小弥太」に統一した。

四 史料紹介については別途凡例に従う。